

水害時に活用を！土のうステーション

市内各小学校区に土のうステーションを設置しています。1か所に砂入り土のうが約50個入っています。水害時に活用してください。

☎ 下水道事業室(☎825・2162)

土のうステーション設置場所



詳しくはコチラ

小学校区	設置場所	小学校区	設置場所
木屋	木屋元町公園南側入口(木屋元町)	中央	市立中央小学校南側緑地(初町)
北	市立北小学校正門(寿町)	東	市立東コミュニティセンター前(高宮新町)
石津	石津中町第2ちびっこ老人憩いの広場(石津中町)	第五	成田西公園東側(成田西町)
田井	田井西公園北側入口(田井西町)	国松緑丘	国松町第4ちびっこ老人憩いの広場(国松町)
桜	池田中町公民館横(池田中町)	三井	三井公園(三井が丘三丁目)
点野	点野自治会用地(点野三丁目)	宇谷	太秦桜が丘第1ちびっこ老人憩いの広場(太秦桜が丘)
池田	大和町公民館南側(大和町)	木田	中木田公園(中木田町)
西	春日どんぐり公園南側(春日町)	楠根	大成町駐車場内(大成町)
成美	市立成美小学校南側緑地帯(錦町)	南	萱島あやめ公園内(萱島東一丁目)
啓明	市立啓明小学校西門外(高柳六丁目)	堀溝	市立南コミュニティセンター分館前(堀溝三丁目)
和光	黒原新町第2公園北側入口(黒原新町)	明和	市立明和小学校来校者駐車場(打上高塚町)
神田	上神田公民館横(上神田一丁目)	梅が丘	梅が丘二丁目第1ちびっこ老人憩いの広場(梅が丘二丁目)

雨水貯留タンク・止水板の設置費用を助成します

大雨による浸水被害の軽減を図るため、2つの助成制度を設けています。
※申請方法など詳しくは市ホームページ「下水道事業室」又は問い合わせてください。

☎ 下水道事業室(☎825・2162)



詳しくはコチラ

雨水貯留タンク

雨水を貯めることで、下水道や河川への流出量を抑制し、洪水や浸水の防止につながります。

助成対象

市内の一戸建ての住宅など(住宅などにつき1基まで、タンク容量80ℓ以上、助成限度額3万円、助成率2分の1)



貯めた雨水を庭の水まき、洗車などに利用したら、水道水を節約できるね!

止水板

建築物への浸水を防ぎます。

助成対象

市内にある住宅・店舗・事務所・工場など(助成限度額30万円、助成率2分の1)



いざというときに、止水板があると安心だね!

家庭でもできる治水対策

雨水は貯めて庭の水まきに

バケツに貯めて、庭の水まきや花の水やりにも利用しましょう。節水にもなります。

大雨のときは風呂の水を流さない

特に大雨のときはお風呂や洗濯などで大量の水を流すことは控え、雨がやんだ後に流しましょう。

庭の雨水は少しずつ流す

庭に池を作って雨水を集める、地面を少し掘って雨水を貯めてから地下にしみ込ませるなどの方法があります。

庭にはできるだけ土を残しておく

庭には植物を植えるなど、土を残しておくこと、降った雨水が地下にしみ込みやすくなります。

水道の修繕は24時間体制

水道事業課では、配水管や給水管など水回りの修繕を24時間体制で行っています。道路などで漏水を発見したときは水道事業課又は市内水道修繕センターに連絡してください。

市内水道修繕センター ☎0120・133・327

マンションなどは建物専属の修理業者又は管理人に確認してください。また、敷地内の修理については、近くの水道工事店又は工務店などに相談してください。
※修理業者が分からないときは、問い合わせください。

☎ 水道事業課(☎820・0036)

災害時支援協力員の募集

地震などの災害時に情報収集や応急給水活動の強化を図るため、水道事業又はライフライン関連の業務に従事した経験があるボランティアを募集します。

※詳しくは市ホームページ「水道事業課」又は問い合わせください。

☎ 水道事業課(☎820・0036)

上下水道

寝屋川市水道ビジョン第4期実施計画を策定

水道事業の運営に関する長期的な方向性と施策推進の基本的な考え方を示した「寝屋川市水道ビジョン」を実現するため、令和3年度～7年度を計画期間とする第4期実施計画を策定しました。

給水人口の減少や節水型生活様式への移行などにより、配水量が年々減少し続けている中においても、施設の経年化に伴う更新や耐震化を着実に推進していきます。

☎ 経営総務課(☎825・2247)

【計画の位置づけ】

第4期実施計画は、国の新水道ビジョンと方向性を同じくする水道ビジョンを具現化するとともに、「第六次寝屋川市総合計画」と整合を図り、「訴求力のある施策」の一つである「災害から命を守るための対策」及び「生活を支える施策」の一つである「衛生的で快適な生活の確保」を推進するため、安全・安心な水道水の安定的な供給、水道管路の更新及び耐震化の加速化などに積極的に取り組みます。



水道管工事の様子

浸水対策の取り組み



下水道事業室 瀬戸 勇輝さん

市では平成24年8月に各所で時間雨量100mmを超える短時間集中豪雨に見舞われ、市内の多くの箇所が浸水し、甚大な被害を受けました。この経験を踏まえ、上下水道局で取り組んでいる浸水対策事業を紹介いたします。

高宮ポンプ場整備事業

河川に自然に排水されない市中央部の内水域に流れ込む外水域の雨水を抑制するため、内水域への流入前に集水する雨水幹線と、集水した雨水を一級河川の讚良川へ排水するポンプ場をそれぞれ新設します。雨水幹線延長約1080m、内径2.6mから1.65mについては、平成30年2月に工事を開始し、親子シールド工法により令和2年3月に施工を終えました。令和元年度からはポンプ場の建設に

着工し、現在はポンプ場棟の建屋を建築しています。令和2年度からはポンプや原動機などの機械設備及び電気設備の完成を目指して、工事を進めています。

古川雨水幹線バイパス管工事

市西部地域における浸水対策として行う「古川雨水幹線整備事業」のメイン事業です。既存の雨水幹線「古川水路」の雨水流量の負担を軽減するために、バイパス幹線を築造し、古川へ流入する水路の水量をカット。直接、大阪府の流域下水道古川導水幹線へ接続し、萱島ポンプ場を経て一級河川の寝屋川へ放流します。令和3年度に工事着手し、令和7年度にかけて内径1.0mから2.4m、延長約2030mのバイパス管を推進工法及びシールド工法で敷設工事を進めます。

昨今ゲリラ豪雨などの水災害が増えています。市民の皆さんを不安にさせないよう、上下水道局は、全力で浸水対策に取り組みんでいます。

☎ 下水道事業室(☎825・2162)